

目 次

議案の概要・請願陳情 1~2P

市政に関する一般質問 3~5P

各常任委員会での主な質疑 5P

一般質問通告要旨・表決結果一覧 6P

とうがね 市議会

だより

第 153 号 平成 24 年 11 月 1 日
 発行 東 金 市 議 会
 編集 議会報編集委員会
 東 金 市 東 岩 崎 1-1
 TEL 0475 (50) 1181



デマンドタクシーの実証運行がスタート

10月1日、交通不便地域の解消を目指し、「東金市乗合タクシー」の実証運行が公平・丘山・源地区で始まりました。事前登録をすれば、利用したい日時を電話予約するだけで、通院や買い物の送迎に利用できます。運行に先立ち9月28日、対象地区の区長さんや交通事業者の皆さんによる出発式が行われました。

平成 24 年 第 3 回 東 金 市 議 会 定 例 会

防災会議条例や災害対策本部条例を一部改正する条例など10議案を可決・同意

平成 24 年 第 3 回 東 金 市 議 会 定 例 会 は、9 月 5 日 から 9 月 24 日 までの 20 日 間 の 会 期 で 開 か れ ま し た。

本 定 例 会 で は、市 長 提 出 の 19 議 案 と 追 加 議 案 2 件 の う ち、10 議 案 が 可 決 ・ 同 意 さ れ、平 成 23 年 度 各 会 計 決 算 認 定 議 案 11 議 案 は、特 別 委 員 会 を 設 置 し 付 託 さ れ、閉 会 中 の 継 続 審 査 と な り ま し た。

また、発議案 1 件 及 び 請 願 1 件 が 採 択 さ れ、陳 情 4 件 の う ち 1 件 が 採 択、3 件 が 不 採 択 と な り ま し た。

な お、一 般 質 問 で は、13 名 が 登 壇 し、市 政 全 般 に つ い て の 個 人 質 問 が 行 わ れ ま し た。

議案の概要

改正する条例

東 金 市 防 災 会 議 条 例 の 一 部 を 改 正 す る 条 例 の 制 定

の 一 部 を 改 正 す る 法 律 が 公 布 さ れ た こ と に 伴 い、関 係 規 定 の 整 備 を 行 う た め、

東 金 市 災 害 対 策 本 部 条 例 の 一 部 を 改 正 す る 法 律 が 公 布 さ れ た こ と に 伴 い、関 係 規 定 の 整 備 を 行 う た め、

条 例 の 一 部 を 改 正 す る 条 例 の 制 定 に つ い て、議 会 の 議 決 を 求 め る も の。

平成 23 年度 決算の認定

「災害対策基本法 第 1 号 議案」

議 会 の 議 決 を 求 め る も の。

「東 金 市 災 害 対 策 本 部 第 2 号 議案」

「東 金 市 一 般 会 計 決 算 の 認 定 第 6 号 議案」

議 会 を 傍 聴 し ま し ゃ う 【傍 聴 席 は 6 0 席 で す】

次 の 定 例 会 は、11 月 28 日 (水) 10 時 から 開 会 さ れ る 予 定 で す。(受 付 は 8 時 30 分 から) また、請 願 ・ 陳 情 の 提 出 期 限 は、11 月 21 日 (水) 午 後 5 時 まで で す。詳 し く は 議 会 事 務 局 まで 電 話 0475 - 50 - 1181

【第9号議案】 歳入総額が1億77億8,821万5千円となり、歳出総額が1億69億4,635万8千円となった平成23年度東金市一般会計決算について、議会の認定を求めるもの。(継続審査)

【第10号議案】 歳入総額が71億7,623万4千円となり、歳出総額が69億2,924万1千円となった平成23年度東金市国民健康保険事業特別会計決算について、議会の認定を求めるもの。(継続審査)

【第11号議案】 歳入総額が15億5,592万2千円となり、歳出総額が15億4,339万5千円となった平成23年度東金市下水道事業特別会計決算について、議会の認定を求めるもの。(継続審査)

【第12号議案】 歳入総額が2億7,010万2千円となり、歳出総額が2億6,226万1千円となった平成23年度東金市介護保険事業特別会計決算について、議会の認定を求めるもの。(継続審査)

【第13号議案】 歳入総額が2億5,754万1千円となり、歳出総額が2億5,754万1千円となった平成23年度東金市病院事業特別会計決算について、議会の認定を求めるもの。(継続審査)

【第14号議案】 歳入総額が14万2千円、歳出総額が0円となった平成23年度山武郡市予防接種健康被害調査特別会計決算の認定

【第15号議案】 東金市ガス事業剰余金の処分

【第16号議案】 東金市ガス事業会計決算の剰余金1億210万6千円の処分について、議会の議決を求めるもの。(継続審査)

【第7号議案】 歳入総額が71億7,623万4千円となり、歳出総額が69億2,924万1千円となった平成23年度東金市国民健康保険事業特別会計決算について、議会の認定を求めるもの。(継続審査)

【第8号議案】 歳入総額が4億1,131万5千円となり、歳出総額が4億601万1千円となった平成23年度東金市後期高齢者医療特別会計決算について、議会の認定を求めるもの。(継続審査)

【第9号議案】 歳入総額が1億77億8,821万5千円となり、歳出総額が1億69億4,635万8千円となった平成23年度東金市一般会計決算について、議会の認定を求めるもの。(継続審査)

【第10号議案】 歳入総額が71億7,623万4千円となり、歳出総額が69億2,924万1千円となった平成23年度東金市国民健康保険事業特別会計決算について、議会の認定を求めるもの。(継続審査)

【第11号議案】 歳入総額が15億5,592万2千円となり、歳出総額が15億4,339万5千円となった平成23年度東金市下水道事業特別会計決算について、議会の認定を求めるもの。(継続審査)

【第12号議案】 歳入総額が2億7,010万2千円となり、歳出総額が2億6,226万1千円となった平成23年度東金市介護保険事業特別会計決算について、議会の認定を求めるもの。(継続審査)

【第13号議案】 歳入総額が2億5,754万1千円となり、歳出総額が2億5,754万1千円となった平成23年度東金市病院事業特別会計決算について、議会の認定を求めるもの。(継続審査)

【第14号議案】 歳入総額が14万2千円、歳出総額が0円となった平成23年度山武郡市予防接種健康被害調査特別会計決算の認定

【第15号議案】 東金市ガス事業剰余金の処分

【第16号議案】 東金市ガス事業会計決算の剰余金1億210万6千円の処分について、議会の議決を求めるもの。(継続審査)

【第17号議案】 既定の予算額1億73億456万4千円に歳入歳出それぞれ1億1,130万円を追加し、予算の総額を174億1,586万4千円とするもの。議会の議決を求めるもの。(原案可決・賛成多数)

【第18号議案】 既定の予算額33億8,900万円に歳入歳出それぞれ5,439万3千円を追加し、予算の総額を39億3,339万3千円とするもの。議会の議決を求めるもの。(原案可決・賛成多数)

【第19号議案】 既定の予算額16億4,140万円に歳入歳出それぞれ25万5千円を追加し、予算の総額を16億4,392万5千円とするもの。議会の議決を求めるもの。(原案可決・賛成多数)

【第20号議案】 千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協

【第21号議案】 教育委員会の委員の任命

【第22号議案】 教育委員会の委員の任命

【第23号議案】 教育委員会の委員の任命

【第24号議案】 教育委員会の委員の任命

【第25号議案】 教育委員会の委員の任命

【第26号議案】 教育委員会の委員の任命

【第27号議案】 教育委員会の委員の任命

【第28号議案】 教育委員会の委員の任命

【第29号議案】 教育委員会の委員の任命

【第30号議案】 教育委員会の委員の任命

補正予算



補正予算により2階渡り廊下の接続工事を行なう正気小学校

その他

【第3号議案】 損害賠償の額の決定及び調停の成立

【第4号議案】 市の管理する道路用地の使用に関する調停事件について、双方が調停内容に合意するに至ったことから損害賠償の額を決定し、調停を成立させることについて、議会の議決を求めるもの。(原案可決・賛成多数)

【第5号議案】 「外国人登録法」が廃止されたことに伴い、千葉県後期高齢者医療広域連合の経費の支弁の方法に関する規定について、改正を行うため「千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約」の制定について、関係地方公共団体と協議を行うに当たり、議会の議決を求めるもの。(原案可決・賛成多数)

【第6号議案】 「保育所の設置認可等の基準に関する指針」の内容を「県条例」にすることを求める意見書の提出を求める陳情【陳情第25号】

【第7号議案】 橋本市本町3-4-3 千葉県保育問題協議会 会長 田島潤一 (不採択)

【第8号議案】 アスベスト問題の早期解決を求める意見書【発議案第1号】

人事案件

【第9号議案】 橋本市本町3-4-3 千葉県保育問題協議会 会長 田島潤一 (不採択)

【第10号議案】 アスベスト問題の早期解決を求める意見書【発議案第1号】

請願・陳情

【第11号議案】 東金市に「住宅リフォーム助成制度」をつくる請願【請願第15号】

【第12号議案】 建設業従事者のアセスメント被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める陳情【陳情第28号】

【第13号議案】 陳情者 東金市上武射田1166-3 千葉土建一般労働組合 執行委員長 野老貞一 (採択)

発議案

【第14号議案】 橋本市本町3-4-3 千葉県保育問題協議会 会長 田島潤一 (不採択)

【第15号議案】 アスベスト問題の早期解決を求める意見書【発議案第1号】

★決算の認定議案(11議案)の審議結果は、次号(2月1日号)でお知らせします。

※お知らせ
公職選挙法では、議員等は「選挙区内にある者に対し、いかなる名義をもってするを問わず、寄附をしてはならない。」とされていることから、東金市議会では、虚礼廃止を徹底すべく申し合わせています。

市政に関する一般質問

地域医療

東千葉メディカルセンターにヒールिंगアートの導入を



公明党 悦子 中丸

問 心を癒す芸術・ヒールングアートについて、ヨロコト等では病院建設の総工費の1〜2%をかけるのが常識とも聞いている。病院は孤独と向き合う場所であり、付き添う方にとってもつらい場所となってしまうと思う。そこで最近、日本でも病院内の大きな壁を絵画などで飾るヒールングアートを取り入れる病院が増えてきたが、是非、東千葉メディカルセンターにおいて、この取り組みを強く望むが考え方を伺う。

答 病院内に絵画等を展示して、患者さんに「いやしの空間」を提供する、このヒールングアートについては、アメニティの向上からも非常に有効なことと感じている。

地域医療

病院運営支援のための寄付金の受付窓口の開設を



東金みらい 清宮 利男

問 一般的に地域の中核医療は、救急医療や小児医療など不採算医療を担いながら住民の命と健康を守る役割を果たしている。しかしながら、三百床の東千葉メディカルセンターは、補助金に対する分母が足りず、市からの多額の繰出金で想定される。そこで病院運営に使用

することを目的に、利用者や市民からの善意としての寄付の受付窓口を開設すべきと思うが見解は。基本的には不採算医療や政策医療を行うことでの不採算部分を構成団体からの負担金で賄うのが公的病院の一つの仕組みである。赤字になることが難しいから寄付金をという考え方もあるが、本来の考え方は、受け入れた寄付を医師や看護師の研修費として活用している病院

行・財政

経済状況に応じた財政運営を



清風会 治夫 小倉

問 基本計画における財政状態について、経済や社会情勢が、かなり流動的になってきているように思われる。計画策定当初と財政規模も大分変化してきている状況の中で、様々な対策を講じているとは思いますが、対策の取り方に何か変化はあるのか。

答 第一期・第二期の基本計画による財政効果及びこれから財政運営についてだが、第一期・第二期では、限られた財源の中で義務教育施設を中心とした施設整備に加え、重点施策を行ってきた。これにより公債費がピークであった平成19年度及び20年度を乗り越えることができたこと、第二期基本計画の最終年度である平成22年度決算では、経常収支比率等の財政指標も兆が見えてきている。また財政調整基金も増額に転じ始めており、今後も限られた財源を有効活用し、第三期基本計画の重点とする施策を中心にしていく。



基礎工事が進む東千葉メディカルセンター

行・財政

放射能汚染による本市の損失額は



東金みらい 渡邊 直樹

問 東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故による健康被害への不安や風評被害等、市民生活や地域経済、また多くの地域において甚大な影響を及ぼしたが、本市における損害や損失は、どの程度であったのか。

答 市では、東京電力(株)に対する放射線対策に要した費用の請求を行なったが、その請求金額は、公的施設や農産物の放射線量の測定に要した職員の人件費等として二百七十七万二千

行・財政

公契約条例の制定の意向は



社会民主党 水口 剛

問 公契約条例は、独占禁止法などに反することが挙げられている。公共サービス業法、そして公契約における労働条件に関する条約の批准の問題もある中で、市自治体もあるが、市

答 本県の場合、野田市が全国的な先駆けとなり、その後国分寺市や川崎市、相模原市等、全国的な広がりをみせている。野田市の条例では、市が業務に従事

健康・福祉

自殺予防対策で認知行動療法・情報発信への取り組み



公明党 佐竹 真知子

問 近年、全国の自殺者数は約3万人で推移している。うつ病が影響する場合が多いと思うが、その治療法として認知行動療法が注目されている。市の認識はどうか。また、心の状態をパソコンなど自己検査できるシステムがあるが、市では各種の相談機関の紹介など、情報発信にどのような状況か。

答 認知行動療法は自分で情緒をコントロールできるようなツールである。県内医療機関では10箇所が行っている。市では平成22年度に認知行動療法をテーマとした講演会を開催し

する労働者の最低賃金を政策的に確保できるように入札前から周知し、その賃金を入札額に反映させ、受注者には履行報告をさせて、賃金管理をしている。しかしながら、最低賃金を契約条項等に取入れ統制することとは、本来地域ごとの動向に注視し、最小の経費で最大の効果をあげられる様取り組んでいく。



東金市ふれあいセンターで行われた講演会

市役所1階ロビーで本会議をご覧いただけます。

現在、議会議中継放映の試行として、市役所庁舎内に限って議場の中継放映を行っています。市役所1階のロビーに設置されたテレビで、本会議の様子をご覧いただくことができます。

子育て 3歳未満児の 待機児童解消策を 早急に



志政会 前
嶋 里 奈

問 昨年度、待機児童の解消に向けた取り組みとして、認定こども園・ユニバーサル雙葉学園に対し、施設の増設費を援助し、園児の受入れ体制を大幅に改善したが、それでも待機児童が発生している。中でも待機児童41名のうち8割を占める34名が3歳未満児のようである。来春に向け早急に改善策が必要と思われるが、来春の待機児童の見込みとその解消策を伺う。

答 新生児の出生状況や出産後の早期社会復帰等による推計となるため、待機児童の動向は読み辛いが、来年度も今年度と同様の約40名程度と見込まれている。現在、5カ所の公立保育所の定員五百四十人に対し、入所児童が四百八十二人と不足しており、保育士が足りない状況である。早急な解消策としては、新たに保育士を確保すると共に施設内の効率的な配置換えにより空き保育スペースを確保し、3歳未満児の保育室に活用することと一定の解消が図れると考えている。

産業振興 産業振興の目標と 権限・財源・人間の 確保は



東金市民フォーラム 斉藤 範 吉

問 先日、長野県飯田市を視察した。産業振興のため官民共同にて種々の取り組みをしている。政策実現の「3ゲン」である権限・財源・人間について職員が農協など他機

答 飯田市では徹底した現場主義により、関係の事務所や執行役員など様々な工夫を凝らして実績をあげてきた。飯田市と比較して、東金市の産業政策の現状分析と今後の取り組みをお聞かせ願いたい。

産業界の力を高め、人材育成の観点でも国や民間への配置で育成を行っている。東金市においては、農商工の分野の事業は進んでいるが統合はできていないのが実情。今後は農商工連携による地域資源活用、中小企業を支える資金金融制度、空き店舗対策など、段階的、複合的な施策を検討していく。また産業は経済界がやるものでなく地域として官民一体で取り組んでいきたい。

問 産業振興の観点から、緑花木センターの再構築について重要な将来投資かと思うが、現在の状況、将来像について他団体との関係を含めて伺う。

答 緑花木センターを現在の社団法人の形で運営するのは限界にきているという議論が6年ほど前からあり、出資者である市・農協などで協議してきた。民間出資への移行も話し合ったが、現在は行政が前面に出た第3セクターの形態を検討中である。この可能性について9月中旬に予備調査が終了する段階にある。この結果によりますが、当然に行政だけでなく生産者の組織、商工会議所、農協などを含めて呼びかけを行い、最も効率的な形を検討していきたい。新たな形への移行時期は、平成25年11月の社団法人消滅の法的期限もあるが、早期に解散総会を行い、空白期間を短くする方向で関係者と協議を進めていく。

産業振興 緑花木センターの 今後のあり方は



東金みらい 塚 瀬 一 夫

問 旧九十九里鉄道(株)の軌道敷地については、その一部は下水道の幹線用地や道路として共用されている。住民も利便に預かっている。これまでの経緯では、所有者との協議や実測量のための境界査定、不動産鑑定等、用地取得の方向で協議がなされてきていたが、財政状況の変化により、この計画は一時頓挫した状況になっている。そこで現在の市の基本的な考え方と今後の対応策を伺う。



建設経済常任委員会にて長野県飯田市を視察

答 市が土地を取得する。経緯もある。今後は、地元区と連携し、生活道路としての認識が継続するように働きかけを継続し、財政状況が許す時点で、具体的な買取交渉に移行したいと考えている。

建設 旧九十九里鉄道の 軌道敷地の今後の 対応は



蒼政会 今 関 正 美

問 田間土地区画整理組合内の調整池は、度々溢れ、道路冠水等の浸水被害が発生している。この対策として排水ポンプ工事を行なったようだが、これによる雨水対策は万全と

量減少させ、流入する区域の一部を田間雨水幹線に流入させるため、平成20年度から22年度にかけて、ふれあいセンターの前の通りの雨水環境の整備を行なった。この整備後、全国的に現在問題視されている集中豪雨は発生していないが、市内各所で部分的な浸水被害を起こした強い降雨時には、以前も調整池周辺は以前のような浸水被害は発生していないため、現状が万全とは言えないが、今後も引き続き安全度の向上に努めていく。

都市整備 田間土地区画整理 地内の雨水対策は 万全か



清風会 文 倉 敬 文

問 田間土地区画整理組合内の調整池は、度々溢れ、道路冠水等の浸水被害が発生している。この対策として排水ポンプ工事を行なったようだが、これによる雨水対策は万全と

答 この調整池は、組合から市に平成11年4月に移管されたが、その後度々調整池の満水に伴う道路冠水が発生し、周辺住民生活に支障を来す状況が発生している。この対応として調整池への流入水

問 水道料金が高という声が多く寄せられている。基本料金(口径13mmの場合)を県営水道と比較すると1.8倍も高い。また、山武水道が九十九里水道に支払う受水費が7.6%引き下げられたが、水道料金には反映されていない。構成団体と協力して県に財政支援を求め山武水道、九十九里水道に対し料金引き下げを求め、市の見解は。

答 九十九里水道による供給エリアの水料金金は、県営水道による地域と比べて高額な受水費と投資的経費のために高い地域となっている。住民の負担軽減のために県と市町村が二分



上水道事業 水道料金の引き 下げを



日本共産党 前 田 京 子

問 水道料金が高という声が多く寄せられている。基本料金(口径13mmの場合)を県営水道と比較すると1.8倍も高い。また、山武水道が九十九里水道に支払う受水費が7.6%引き下げられたが、水道料金には反映されていない。構成団体と協力して県に財政支援を求め山武水道、九十九里水道に対し料金引き下げを求め、市の見解は。

※紙面の都合上、一般質問の一部について要旨を掲載しています。詳細については、図書館・中央公民館及び市役所情報公開コーナーにて「会議録」の閲覧、または、東金市ホームページより会議録検索システムでご覧ください。(11月上旬発刊・掲載予定) 会議録検索のホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/togane/togane.html>

常任委員会での主な質疑

◆<総務常任委員会>

第 1 号議案 東金市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について

問 災害対策基本法の改正前の第 16 条では、地域に係わる防災計画の作成と、その実施の推進ということを謳われており、改正案のほうではそれに追加し、地域に係わる防災に関する重要事項を審議するという事になっている。東金市特有の防災に関する重要事項とはどのようなものがあるのか。

答 東金市における重要事項としては、津波対策ももちろんそうだが、津波からの避難者の受け入れに対することや液状化対策、倒壊の危険性のある家屋をどうするかなどである。急傾斜地の関係など、そういうものも全て含めて、防災に関する重要事項について市長の諮問に応じて審議するという事である。

第 2 号議案 東金市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について

問 災害対策基本法の第 23 条というのは災害対策本部の規定で、今までは条例委任事項は第 7 項であったが、改正案では第 23 条の 2 の第 8 項が条例委任事項になったという解釈でいいのか。

答 改正前の災害対策基本法では、第 23 条で都道府県又は市町村の災害対策本部に関して規定しており、第 7 項までしかなかったが、改正により市町村の災害対策本部について、新たに第 23 条の 2 が規定されるとともに、関係機関の間の連絡調整という部分が第 7 項として追加されたため、今回、引用する条文が第 23 条の 2 の第 8 項になったということである。

第 4 号議案 字の区域及び名称の変更について

問 田間の字の区域及び名称の変更を実施することによって、市として支障はないのか。

答 田間の字の変更については、それぞれ田間一区、二区、三区の区長にも話をして了解を得ている。大字が同一でも行政区が異なる区域が生ずる事にはなるが、この区域は地番によって容易に行政区を特定することが可能なので、市として支障は無いと考えている。

第 17 号議案 平成 24 年度東金市一般会計補正予算（第 3 号）について

問 塵芥処理と給食の入札差金が、総額からするとかなりの割合で出ている。委託契約内容、業務の執行状況に支障は無いのか。

答 ごみ収集については、区分を可燃ごみ、ペットボトル、カン・ビン類、金属等としており、6 月 1 日から新たな業者をお願いし、収集を開始しているが、今まで特に問題は無いということを知っている。また、給食についても、今までの実績と比較して、雇用条件等の低下は見られない。

◆<文教厚生常任委員会>

第 5 号議案 千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

問 外国人登録が廃止され住民基本台帳に登録をされるという法改正によって、在留資格がない外国人で後期高齢者医療制度が使えなくなってしまう人数は。

答 後期高齢者医療の対象となる外国人は 8 月 1 日現在 12 人で、これは外国人登録法廃止以前と同数で、この法改正で後期高齢者医療制度が使えなくなった外国人はいない。

第 18 号議案 平成 24 年度東金市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）について

問 財政安定化基金で、東金市分の拠出額はどのくらいか。平成 23 年度決算に伴う歳入と歳出の差引残高があり繰越金が発生している。また介護給付費準備基金へ余剰分を積み立てるという事は、これらを活用して保険料をもっと引き下げる努力ができたのではないのか。給付が見込みを下回った結果、こういう状況が起きたのかどうか。

答 県に設置されている財政安定化基金の東金市分の拠出額は、約 3 千 8 百万円である。また、交付金は確定ではなく概算交付のため、23 年度実績より過大に交付されたため、超過交付分を翌年度 24 年度に返還するもので、保険料を取りすぎたから繰越額が出たという事ではない。

陳情第 25 号 「保育所の設置認可等の基準に関する指針」の内容を「県条例」にすることを求める意見書の提出を求める陳情」について

問 第一保育所から第五保育所まで、それぞれの定員と現在の入所人数及び待機児童はいるのか。

答 8 月 1 日現在で、第一保育所は定員 130 人、入所 124 人、待機児童 9 人、第二保育所は定員 130 人、入所 130 人、待機児童 18 人、第三保育所は定員 70 人、入所 77 人、待機児童 5 人、第四保育所は定員 120 人、入所 79 人、待機児童 3 人、第五保育所は定員 90 人、入所 72 人、待機児童 6 人である。

陳情第 26 号 社会保障としての国民健康保険制度を守り、改善を求める陳情について

問 半減されている国の負担率がもしこの 50%に戻ったとしたら、国保財政としてはどういう状況になるのか、担当課の意見は。

答 国庫の 50%は、42%に引き下がっている。これは平成 17 年から三位一体改革で国負担の一部が県の調整交付金に移行したため、国県あわせて実質 50%負担という比率は変わっていない。なお、6 月 6 日に全国市長会で、国庫の負担引き上げが採択され、6 月 26 日全国市長会から全国会議員と関係省庁に重要提案で提出している状況で、今後また機会があれば、市としても保険者として国県に負担

問 いじめ問題に
ついては、いじめ問題に
家庭や学校でチェックする
ようにしても、形には見え
ないものや周りから見
えにくいものや、ま
ら見えないものや、ま
たインターネットや
携帯電話等からも
「いじめ」が考えら
れるが、その対策は
どのようになっているか。
答 県の平成 23
年度から青少年ネット

防止に努めている。未然
本年度は、1 学期
ト報でも。告
検査や学校独自のネット
収集や独自のネット
でも。また市にも来て
報が市にも来てこの報
告もまた市にも来てこの報
も。また市にも来てこの報
も。また市にも来てこの報

指導に現在、力を
に現在、力を
に現在、力を
に現在、力を
に現在、力を
に現在、力を
に現在、力を
に現在、力を
に現在、力を
に現在、力を



教育
策はどのよう
よる「いじめ」
インターネット
対に

志政会
伊藤博幸

議 員 研 修

8 月 1 日、「農商工連携で地域経済の活性化を」をテーマに、コーソ経営研究所所長の後久（ごきゆう）博氏を講師に、議員研修会が開催されました。



引き上げの要望をしていきたいと考えている。

陳情第 27 号 介護保険制度の改善を求める陳情について

問 介護保険法施行前、老人福祉法では国が 2 分の 1、県が 4 分の 1、市町村が 4 分の 1 負担をしていた。介護保険制度では国の負担が 2 分の 1 から 4 分の 1 になった。これを元の国の負担 2 分の 1 に戻したら介護保険制度にどう反映されるのか。

答 財政的に試算はしていない。国の負担割合を増やして、その増やした分をどこに振り分けるかということになるかと思うが、全部一号被保険者に振り分ければその方々の保険料の負担が軽くなり、公費負担部分へ振り分ければ、県や市町村の負担が軽くなる事になるのではないかと。

◆<建設経済常任委員会>

第 3 号議案 損害賠償の額の決定及び調停の成立について

問 約 33 平米の土地を約百万円で買い受けるとのことだが、今後の利用価値等を含め、どのような検討・協議がなされたのか。

答 買い受ける方法と更地にし現状回復する方法が想定されたが、現状回復の場合、舗装等の撤去や信号機の感知器の移設等で 2 百万円程度の経費が掛かること、また道路線形が 1 m 程度振れることにより直進方向の安全性が下がること等を考慮し、用地買収とした。

第 19 号議案 平成 24 年度下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）について

問 債務負担行為を行なう浄化センター及び中継ポンプ場保守点検業務委託の主な内容と人工数は。

答 保守点検業務として年間 244 日・8 時間勤務、運転操作監視業務として水処理業務が年間 365 日・24 時間勤務、汚泥処理業務が年間 261 日などであり、全体で 3800 人工を想定している。

請願第 15 号 東金市に「住宅リフォーム助成制度」をつくる請願について

問 この助成制度は、現行の福祉分野における介護リフォーム助成制度との併用が可能となるのか。

答 改修の内容が違いまた契約も別の工事であれば、両方の制度を併用することも可能という考え方をしている。

